

授業科目	保育内容の理解と方法Ⅱ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21625J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP5-1 DP5-2			
担当教員	金谷 めぐみ、吉富 淳子							
授業概要	保育士として求められる音楽の基礎技能について教授する。ピアノの演奏技術を高め、弾き歌いや伴奏法について教授する。学生のピアノの演奏技能の程度によって、グループ別、個別に授業を行う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことができる。 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイエル 60 番程度)。 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20					10	30	
技能・表現 (DP5-2)	50					20	70	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. バイエル 80 番以上を演奏できるピアノ演奏技能を身につけている。 2. 子どもの歌の弾き歌いの際、曲に合った表現で演奏できる。 3. 弾き歌いの際、周りの状況や子どもに配慮した演奏ができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽譜を正しく読むことができる。 2. 正しい呼吸法、発声法を活かし、表現力豊かに歌うことができる。 3. 正しい演奏法に基づいてピアノを演奏することができる(バイエル 60 番程度)。 4. 子どもの歌の弾き歌いができる程度の演奏技能を身につけている。 5. 保育の各場面に適した音楽を選び、演奏できる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	声楽の基礎①:合唱 器楽演奏技術①:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
2	声楽の基礎②:合唱 器楽演奏技術②:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
3	声楽の基礎③:合唱 器楽演奏技術③:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
4	声楽の基礎④:合唱 器楽演奏技術④:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
5	声楽の基礎⑤:合唱 器楽演奏技術⑤:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
6	声楽の基礎⑥:合唱 器楽演奏技術⑥:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
7	声楽の基礎⑦:合唱 器楽演奏技術⑦:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
8	声楽の基礎⑧:合唱 器楽演奏技術⑧:ピアノ演奏の基礎	実技指導	ピアノ練習	60
9	器楽演奏技術⑨:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60
10	器楽演奏技術⑩:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60
11	器楽演奏技術⑪:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60
12	器楽演奏技術⑫:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60
13	器楽演奏技術⑬:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い、伴奏法	実技指導	ピアノ練習	60
14	まとめ:ピアノ演奏の基礎 幼児唱歌の弾き歌い	実技指導	ピアノ練習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育の表現技術 1 で学んだ「楽典の基礎」を復習して確実に理解しておきましょう。保育の表現技術 1 で弾けるようになった曲を、練習しておきましょう。			
テキスト	『バイエルピアノ教則本』 全音楽譜出版社 『コールユーブンゲン』 音楽之友社 『新・幼児の音楽教育』 朝日出版社			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「バイエルの謎」 安田 寛 著 音楽之友社 「ブルクミュラー25 の不思議」 飯田 有抄・前島美保 著 音楽之友社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	ピアノが弾けるようになるためには、とにかく繰り返し練習することです。授業以外の時間にも、できるだけ時間を作って、ピアノを練習しましょう。			
達成度評価に関するコメント	試験(ピアノ曲、弾き歌いによる実技試験)、その他(より高いレベルに到達するために意欲的に取り組んだかどうか)により評価します。 詳細は授業で説明します。			

